



西川町 議会だより

「元気な子どもたち」シリーズ6

「西川町卓球スポーツ少年団」のみなさん

活動紹介は裏表紙にあります。

106号
2018.10.15発行
山形県西川町議会

初の小水力発電所に期待	【9月定例会】	… 2頁
健全で持続可能な財政運営	【監査委員の決算審査報告】	… 5
全会計の決算を認定	【決算特別委員会】	… 6
6人の議員が町政を問う	【一般質問】	…10
みなさんの声をお聞きしました	【町民と議会の対話の集い】	…16
こんな調査をしています	【常任委員会活動報告】	…20
活かそう我が町に	【議会運営委員会行政視察報告】	…22
知りたい！聞きたい！	【読者モニターの広場】	…23
経験が子どもたちを強くする	【表紙のご紹介】	…24

初の小水力発電所に期待

～大井沢小水力発電所を設置～



▶大井沢小水力発電所の外観

平成30年9月定例会は、9月3日から13日までの11日間の会期で開催されました。町からは、29年度の一一般会計並びに特別会計、事業会計の決算の認定案件のほか、30年度各会計補正予算5件、人事への同意案件3件、専決処分の承認案件2件、条例の設定及び一部改正3件などが提出され、慎重に審議した結果、全議案を可決しました。

一般質問は6人の議員が7件について行いました。請願は2件を採択の上、議員発議にて意見書の提出を可決しました。

新たな自然エネルギーを導入

西川町小水力発電所設置条例の設定

大井沢地内に完成した小水力発電所の運用開始にあたり、設置に関する条例案が上程され、可決しました。(賛成8・反対1)

反対 青山知教

設置の目的は

小水力発電所設置の目的について、条例では、農村地域における農業生産環境の改善、自然環境の保全及び自然エネルギーの普及啓発を図るためとしています。また、発電所の名称を「大井沢小水力発電所」と

発電所の概要

発電方式	流れ込み式
水車	クロスフロー水車 1台
発電機	永久磁石内蔵型同期発電機 1台
年間可能発電量	286,000kwh
年間発電量	272,000kwh
売電価格(見込)	34円/kwh(税込36円)
年間売電額(見込)	979万2千円(税込)

することが定められました。5年の歳月を要した取組みの総額は2億4500万円、そのうち町の支出は6125万円の見込みとなっています。

この自然エネルギーが新たな資源として地域を潤すことが期待されます。

問 初めての小水力発電所だが、今後、町が主体となって中小河川や農業用水を利用した場合の可能性調査を行なうてはどうか。

答 民間の協力も得ながら、取り組んでいきたい。

全議案を可決

☆町道路線の廃止及び認定町道沢口向中軸線道路改良工事の11月末の完成に伴い、町道元組線を廃止し、元組線を含む形で町道元組・沢口線として認定する。(全員賛成)

☆損害賠償の額の決定 28年度子ども・子育て支援交付金の国への返還金の延滞金の額を288円と定める。(全員賛成)

☆町税条例等の一部を改正する条例の制定 地方税法の一部改正に伴い、規定の整備を図る。(全員賛成)

☆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 夜間看護業務に従事する職員の特殊勤務手当の額を改定する。(全員賛成)

※30年度補正予算、29年度決算認定の審議結果は4ページの表でご確認ください。

問 これまで売電に関する説明もあったが、条例に掲げた設置の目的とどう結び付けるのか。

答 売電収入を、国の補助を受けて整備した農業施設の電気料に充当する予定であり、その点で設置目的に合致する。

問 管理体制をどのように考えているか。

答 発電事業者の町が管理者となり、機械整備や電気保安などは専門業者に委託する。水路の大井沢堰は西川町土地改良区が管理しており、発電所への取水の際のごみ取りは、同土地改良区に委託することを考えている。

問 西川町土地改良区の大井沢地区の方々は高齢化してきて、今は良いが、今後どうするつもりか。

答 将来的には、大井沢のみなさんと協議しながら問題を一つひとつクリアしていきたい。

請願を採択し関係行政庁に意見書を提出

2件の請願を採択し、関係行政庁へ意見書を提出しました。

☆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図る意見書
①子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること
②教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。(全員賛成)

☆種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書

①試験場等の取組みが後退することのないよう予算措置等の確保を行うこと。
②地域の共有財産である「種子」を民間企業に委ねることのないよう対策を講じること。
③農家の生産意欲と品質向上への努力に大きな役割を担う「種子」の安定確保を図れるよう対策を講じること。(全員賛成)

水にこだわった
まちづくり

専決処分の承認

☆町税条例の一部を改正する条例の制定の専決処分 30年6月6日の生産性向上特別措置法の施行に伴い、償却資産に係る固定資産税の減免規定を早急に定める

☆副町長の選任 高橋 勇吉さん(吉川) 平成30年9月9日で任期満了となり、引き続き選任する。(全員賛成)

☆固定資産評価審査委員 柴田 隆一さん(睦合) 30年9月23日で任期満了となり、引き続き選任する。荒木 一範さん(沼山) 30年9月30日で任期満了となる佐藤勝男さんの後任として選任する。(全員賛成)

議会として同意

☆30年度一般会計補正予算第3号の専決処分 8月5日から6日にかけての大雨による被害への緊急の対応が必要ため専決処分したもの。(全員賛成)

8月5日～6日の大雨による主な被害状況

上段：箇所数	下段：被害額
農地・農業用施設	52ヶ所 2800万円
林業施設	20ヶ所 8100万円
土木施設	30ヶ所 4500万円
畦畔崩壊、水路埋塞、土砂崩落、道路の路肩決壊ほか	



▶小山地内の水田崩落現場

9月定例会提出議案(補正予算・決算)及び審議結果

※補正予算は主な支出のみ載せています。

議案番号	件名と主な内容	議決結果	
承認第9号	30年度一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認 50億8151万3千円(2649万円追加) 【災害復旧費】町道沼の平線道路復旧工事 650万円 その他単独災害工事 650万円 農業用施設災害復旧測量設計委託 240万円 林業施設応急復旧委託 540万円	可決	全員賛成
	30年度一般会計補正予算(第4号) 51億7481万6千円(9330万3千円追加) ※職員の人事異動による給与費等の組替え以外の主な内容 【総務費】月山自然水工場充填ライン修繕 280万5千円 月山湖大噴水点検整備委託 164万6千円 【衛生費】水道事業会計繰出金追加 2210万円 【農林水産業費】小水力発電に伴う大井沢堰水路蓋購入 162万5千円 【商工費】起業支援事業補助金 300万円 【土木費】町道本道寺線道路改良工事関係 260万円 【教育費】西川町民スキー場ナイター照明修繕 264万5千円 【災害復旧費】農業施設災害復旧工事 1160万円 農業施設災害復旧事業補助金 1427万円		
議第47号	30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 5億9787万5千円(148万8千円追加) 【諸支出金】事業確定に伴う交付金等超過分の返還 130万4千円	可決	全員賛成
議第48号	30年度介護保険特別会計補正予算(第1号) 7億4305万円(199万3千円追加) 【諸支出金】29年度決算に伴う一般会計繰出金 199万3千円	可決	全員賛成
議第49号	30年度病院事業会計補正予算(第2号) 5158万6千円(219万3千円追加) 【資本的支出】人工呼吸器購入 219万3千円	可決	全員賛成
議第50号	30年度水道事業会計補正予算(第1号) 1億9797万8千円(69万9千円追加) 【水道事業費用】滅菌設備修繕 69万9千円	可決	全員賛成
議第51号	29年度一般会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成
認定第1号	29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成
認定第2号	29年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成
認定第3号	29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成
認定第4号	29年度寒河江ダム周辺施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成
認定第5号	29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成
認定第6号	29年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成
認定第7号	29年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成
認定第8号	29年度病院事業会計歳入歳出決算の認定〔初めての赤字決算〕	可決	全員賛成
認定第9号	29年度水道事業会計歳入歳出決算の認定	可決	全員賛成

今後も健全で持続可能な財政運営を

町監査委員の決算審査意見の報告〔抜粋〕

◆歳入歳出決算

平成29年度一般会計及び特別会計、事業会計の計数は正確であると認められる。財政状況は、経常収支比率(必ず必要な金額の割合)は90・8%で、昨年度より3・1ポイント増加した。

一方、一般会計の町債残高は67億3698万1千円で、3779万7千円減少した。財政調整基金残高は14億4694万2千円となり、2億5903万9千円減少した。

人口減少と少子高齢化が進む中、取り組まなければならない課題も多く、本町の財政運営は今後も厳しい状況が続くと見込まれる。

自主財源の町税の的確な賦課、徴収に努めるとともに、国や県に対して、地方交付税など安定的な財政運営に必要な財源が確保できるように、所要の措置を講じ

ることを強く働きかける必要がある。

一方歳出は、今後も、社会保障費や、老朽化が進む社会資本の整備費の増加などが見込まれる。政策の優先順位を明確にし、これまでの事務事業の点検や公共施設等の適正な管理など、行政経費の節減・効率化をさらに進める必要がある。社会経済情勢が急変する中、今後も健全で持続可能な財政運営に一層努めていただきたい。

◆財政健全化比率報告

公債費の減少により実質公債費比率は9・3%で0・6ポイント減と改善した。

また、将来負担比率は2・3%で前年度より4・6ポイント減と改善した。

西川町監査委員 高橋 将
佐藤幸吉

平成29年度決算に基づく財政健全化判断比率	
実質公債費比率	将来負担比率
全会計の償還額が標準財政規模に占める割合 【25%以内であること】	将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合 【350%以内であること】
9.3%	2.3%
河北町:12.0% 大江町:3.9% 朝日町:3.5% (参考比較)	河北町:31.6% 大江町:37.7% 朝日町:- (参考比較)

一般会計・特別会計決算状況

(万円未満四捨五入)

会 計		歳入総額	歳出総額	差引残額
一 般 会 計		57億 3461万円	55億 718万円	2億 2743万円
特別会計	国民健康保険	7億 5494万円	7億 1272万円	4222万円
	事業勘定	354万円	352万円	2万円
	施設勘定(大井沢診療所)	1億 7131万円	1億 7062万円	69万円
	公共下水道事業	2891万円	2841万円	50万円
	農業集落排水事業	405万円	368万円	37万円
	寒河江ダム周辺施設管理事業	8547万円	8541万円	6万円
	後期高齢者医療	7億 4174万円	7億 4158万円	16万円
	介護保険	6万円	0円	6万円
宅地造成事業	75億 2463万円	72億 5312万円	2億 7151万円	

事業会計決算状況(税込)

(万円未満四捨五入)

会 計		収 入 額	支 出 額	収支差引額
病院事業会計	収 益 的	6億 4880万円	6億 5590万円	△ 710万円
	資 本 的	4300万円	7987万円	△ 3687万円
水道事業会計	収 益 的	2億 506万円	1億 7877万円	2629万円
	資 本 的	1525万円	4804万円	△ 3279万円

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益留保資金で補っている。

決算特別委員会 決算審査

平成29年度一般会計 特別会計、事業会計

平成29年度決算審査にかかる決算特別委員会（議長と議選監査委員を除く8名で構成）を、9月3日から5回にわたって開催しました。
委員会では、一般会計、特別会計、事業会計の歳入歳出決算について慎重に審査した結果、全員賛成で認定しました。

一般会計

総務課所管

町内会長報酬

問 区長の報酬は一律均等割・町内会長の報酬は均等割十世帯数割りで格差がありすぎる。報酬の在り方を検討してはどうか。

答 格差は理解している。組織の在り方も含め検討する。

非常備消防団の減少

問 定数300人の消防団員が284人となっている。非常時のことを考えると心配になる。退団者の活用も検討する必要があるのではないか。

答 団員の確保は大変であり、検討していきたい。

町道・県道も該当

問 交通安全対策としてのカーブミラー、ガード

女性消防隊



答 レールの設置、修繕の費用は町道・県道とも該当するのか。

答 危険な箇所は、どちらも対象となる。

政策推進課所管

メンバーを見直し

問 総合政策審議会の参加者が15人となっている

が、メンバーの入れ替えなどは考えないのか。

答 見直しを検討しているところである。

地域おこし協力隊

問 協力隊の活動が地区活動の小間使いになっっていることは無いか。

答 現在は、自然教育分野でお願いしている。また、紙すき並びにツル細工などに取り組み、修得に励んでいるところである。

新しい取組みを模索

問 まちづくり応援団の取組みが見えなくなっている。新しい取組みを模索すべきではないか。

答 交流の拡大や世代に対応した取組みにしなければならぬ。いろいろな活動をしている人も多いため、情報を共有化し、充実した活動にしたい。

ジオパーク認定見込みは

問 400万円の支出をしている月山ジオパークの認定見込みはあるのか。

答 前回の評価結果を受け、認定に向けた方針を作りたい。

まきびと 新人の会、Loveらぼ

問 町づくり活動補助金19万9千円の内訳は。

答 薪人の会の3万9千円は会報発行や町の宝発掘に、Loveらぼの16万円は、星空観察鑑賞会やマーケット事業への補助である。

活動見直し

問 里山社会・文化研究所の活動を見直したいというが、時間がかかっている。活動内容を見えるようにしてほしい。

答 講座、研修や研究員の見直しをしたい。

商工観光課所管

町イチ！村イチ！

問 町イチ！村イチ！2017とはどういうものか。

答 全国の町村が一堂に会し、特産品や観光資源などの宝を都会の人にアピールするイベントである。

タクシー利用を支援

問 山形空港・JRさくらんぼ東根駅からタクシーの利用促進のため、旅館だけでなくPR方法を考えるべきだ。またこれは一人でも利用できるのか。

答 事業所へ問い合わせがあった場合や、HPなどで対応している。またこの利用は一人でも可能である。

小規模事業者補助

問 小規模事業者持続化事業補助とは何か。補助の実績はどうなっているか。



▶ 刈払いの様子 (写真提供：清川仙人会様)

答 商工会が行う事業補助に該当しない案件を救うための事業で、上限20万円までの補助事業である。2件で30万3千円の実績があった。

登山道刈払い

問 朝日連峰及び月山登山道の刈払いの範囲が広い。予算の増額は望めないか。

答 平成29年度は、決算どおりの額だった。県への要望事項に上げている。

町民税務課所管

全棟調査の成果は

問 家屋の全棟調査結果をどう活かしたのか。

答 25年度から5年にわたって調査を行い、家屋等の新築や増築、滅失などの状況を確認した結果、固定資産税の課税額が160万4620円の増額となった。

高校生医療費無料化の試算

問 医療費完全無料化の対象を高校生まで広げた場合の試算はしているか。

答 集計が困難であり、試算はしていない。

衛生組合活動

問 衛生組合の活動について町の見解は「設立当初の目的は達成した」ということであった。発展的解消をしても良いのではないか。

答 春の一斉消毒、ゴミ対策、ダニ駆除などの目的は達成した。他の町では区長が兼務しているところもあり検討していきたい。

産業振興課所管

雪室の活用は

問 旧水沢小学校のピロティ部分部分を雪室として活用した経過があるが、今後どのように活用する予定か。

答 本来の目的は、農産物を収納する倉庫だったが、冬は雪室として使えるのではないかとの見解から県農業普及課と取り組んだ事業だった。

農泊推進

問 農泊の取組み状況を教えてください。

答 町農泊推進協議会に800万円を貸し付けた。国から年度末に1000パーセント交付される。



▶ 大井沢地内のそば畑

そば振興に畑地化を

問 そば振興を進めるには、排水、除草を考えた場合、額縁暗渠でなく畦畔を取り除き、畑地化すべきである。

答 再び田んぼに戻せなくなるのではないかと心配もあり現在に至っていない。

決算特別委員会 決算審査

平成29年度一般会計
特別会計、事業会計

健康福祉課所管

結婚推進員の活動は

問 結婚推進員の活動内容はどのようなものか。

答 5人の推進員による活動で、月一回の情報交換や交流会の呼びかけなどを行なっている。推進員の任期は3年で再任もある。

けんこう弁当なぜ一社

問 かつてJA婦人部も入っていたけんこう弁当の扱いが総合開発(株)一社になったのはなぜか。

答 あいべの宿泊の利用はどの程度あるのか。

生涯学習課所管

あいべの宿泊の利用

問 交流センターあいべの宿泊の利用はどの程度あるのか。

体育館の安全対策等

問 体育館の走路脇の窓枠に子どもが上がって遊んでいる。事故が起こる前に対策をすべきだ。

答 早急に対応する。

問

体育館アリーナの照明器具は、取り換える時に莫大な費用がかかる。なぜ昇降式にできなかったのか。

答 特注の電灯のため設置費が高くなり、そこまですべて考えなかった。取り換えるの時期は10年と聞いている。

答 保健センターの調理設備の関係で、JA婦人部は止めざるを得なかった。

除雪支援に要項を

問 間口除雪の費用並びに機械利用費用などを定めた基準となる要項をつくり、除排雪に備えてはどうか。

答 福祉町内会でも相談をしたが、なお検討したい。

応援米不要な方は

問 子育て応援米は不要と言っている家庭はあるか。その代替品(発芽胚芽米入りうどん)を交付することはできないか。

答 3世帯が不要と言っている。代替品は検討する。

早期発見の有効性を

問 がん検診による早期発見の有効性を訴え、受診率を上げることが大切だ。

答 早期発見は有効ながん対策である。平成28年の実績は次のとおり。

- 大腸がん 精検90人のうち6人
- 胃がん 精検13人のうち0人
- 肺がん 精検58人のうち2人
- 乳がん 精検18人のうち0人

建設水道課

きれいな川運動

問 県から28万円の交付を受けている事業だが、支出は1万4千円程度だ。一般財源化している分を参加者に還元すべきだ。

答 今後検討したい。



▲河川清掃の様子 (写真提供: 入間第2町内会様)

答 開催時期の変更など検討が必要であるが、その他は現段階で考えていない。

スポーツ推進委員

問 スポーツ推進委員の任期、活動内容、目的は何か。

答 条例に基づき選任している。月一回の打ち合わせをし、スポーツ活動の拡大、健康まつり、ミニデイなどで活躍してもらっている。

病院事業会計

町外の透析患者を

問 透析患者の数が減っている。町外の患者を受け入れることはできないか。

答 町内外に限らず、現在は専門の医師がいらないため、新規の受け入れはしていない。このため患者は減少傾向にある。

施設整備等の計画は

問 今後の建設工事の予定はあるのか。

利用の少ない公園

問 町内に管理を委託している公園が10か所あるが、利用されないところは廃止すべきだ。

答 内部検討をしてみたい。

カヌー練習場に照明を

問 町の公園に指定されている長沼はカヌーの練習場として使われている。夕方は暗くなり危険なので照明による安全確保をしてほしい。

答 練習している生徒の立場で考えると実施すべきだ。要望として受けたい。※関連・学校教育課 艇庫前には照明をつけたが、湖面の照明は、実態を調査したい。

傷んだ舗装道路

問 舗装道路に草が生えている。整備すべきだ。

答 特に建設工事に係るものはない。しかし今後、ボイラーの点検や水道管路の更新が考えられる。

医事業務委託料

問 総合開発(株)への1300万円の支出は何か。

答 4名の医事業務委託料である。

寒河江ダム周辺施設管理事業特別会計

水の町西川の大きな力

問 この事業に関わる市町村で負担金の無いところはありますか。

答 全ての水利市町村(※)から負担金をいただいている。合計211万9700円である。

※参考 山形市、天童市、上山市、村山市、新庄市、寒河江市、東根市、尾花沢市、河北町、大江町、山辺町、中山町、朝日町、西川町、大石田町、大蔵村、戸沢村(以上の17市町村)

答 陥没を優先して整備している。舗装が悪くなっていることは認識している。

融雪遅延対策

問 春先の融雪遅延対策は大切である。場所によって条件が違うので、適切な対策をしてほしい。

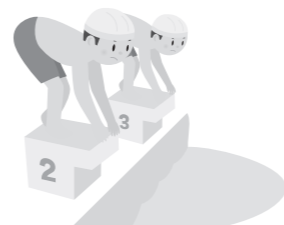
答 今後の検討課題とした。

学校教育課所管

中学校のプール利用

問 中学生は小学校のプールを使用しているが、利用状況はどうか。

答 1年生、2年生とも1回ずつ一時間の利用となっている。小学生との交流もできている。



水道事業会計

石綿管残り5400m

問 今後、石綿管の取り換えを要するところは、どのくらいあるのか。

答 昨年度大井沢萱野までが終わった。残りは5400mである。

介護保険特別会計

参加者が少ない

問 家族介護者交流事業は、100人の対象者に対し22人の参加と少なかった。不参加者には介護激励品を贈呈しているが、本来の介護者交流の意味をふまえると必要な事業か。

答 3回実施の状況は次のとおり。

- 1回目 3人(男)
 - 2回目 12人(女)
 - 3回目 7人(男女)
- 介護激励と不安解消のため研修と昼食会を実施している。必要な事業である。



▲体育館アリーナ



大江 広康 議員

一般質問

教育環境

学校教室に冷房設備を

町長 国の補助制度を活用し設置を検討する。

子どもたちの体調管理や学習環境の面からも冷房設備は必要と考えるが、その導入について検討したのか。

冷房設備導入の検討は

6月末から連日30度を超える真夏日が続く中、小中学校とも冷房設備がなく暑くて大変だという話を聞いた。小学校では窓を開けても風が入らず、各教室に扇風機を2台置いて対応したとのことだった。また、一日中あの暑さの中で勉強するのは可哀そうだと言う声も聞いた。中学校も同様であろうと思う。この猛暑は今年だけとは限らない。熱中症の問題もあり、冷房設備は絶対必要と考える。町の宝である子どもたちが安全安心に、そして快適な学校生活を送ることができるよう次のとおり質問する。

西川小学校の教室内の気温の記録

(測定時刻:午後2時 単位:℃)

	1・2年	3・4年	5・6年
7/21	32.0	32.4	32.2
7/23	31.3	30.4	31.0
7/24	31.3	28.6	29.4
7/25	32.1	32.9	33.2
8/20	27.8	29.5	29.0
8/21	32.4	32.6	32.7

小中学校とも普通教室や特別教室に冷房設備はないため、熱中症対策として、小中学校では、温度と湿度の計測を行いながら児童の体調管理に努め、各教室に扇風機を設置し、こまめな水分補給などの対応を行なっている。中学校では、教室のドアを外して風通しを良くするなど対応を行なっている。しかし、このような暑さが来年度以降も続くようであれば、児童生徒の学習に支障をきたすことが予想されることから、冷房設備を含めた空調設備の整備について国の補助制度も活用しながら、来年度以降、設置を検討する。

導入の試算は

冷房設備を設置する際の費用や使用した場合の維持管理費はどのくらいか。

中学校の普通教室、特別教室に冷房設備を設置する場合の費用は約5千万円と見込んでいます。維持管理費、冷房及び暖房をエアコンで対応すると仮定した場合、現在の電気料及び暖房用灯油代の合計と比較し、現段階では約4割増になると試算しています。

小学校の場合、教室の天井が吹抜けの構造で、教室と廊下に間仕切りがない。



▲西川小学校の教室

このため冷房設備の設置は、その維持管理費も考えながら、快適な学習環境のための設置方法を検討する必要があります。現段階では、間仕切りをして普通教室及び特別教室に冷房設備を設置した場合、設置費用として約1億円、維持管理費は、冷房設備の電気料として年間約200万円と試算しています。

要望はどのくらいか

冷房設備導入の要望は、いつ頃から寄せられていたのか。

西川小PTA役員との対話の集いの際、様々な要望などをどこへ伝えればいいのか分からないという意見もあった。

中学校に対しては、生徒数が減って、これまで2クラスで22人ずつだったのが1クラスで38人という状況になり、教室内の環境を改善する必要があるという要望が2、3年前からあった。小学校については、暑いという概念は確かにあったが、比較的広い場所で活動を行っていたこともあり、今年のような差し迫った要望は、これまでなかったと記憶している。

設備面に限らず、子どもたちにかかってくる様々な要望を受け付ける組織は主に二つある。一つは西川町PTA連絡協議会、もう一つは町校長会である。



佐藤 耕二 議員

一般質問

農林業

農林業対策を早急に

町長 農地の有効利用、集約化に努める。

耕作放棄地(遊休地)

景観問題、害虫問題、なり手不足、土地の集約化等の中で具体的な対策は。また、遊休地を新たに耕作した人に補助金を交付してはどうか。

農地の有効活用と地域の担い手対策への理解と協力をいただくため、人・農地プランや集落営農に取り組んでいる。また、毎年農地の利用状況に関する調査を行い、遊休農地があった場合には所有者に指導・助言を行なっている。

農地の集約化は、農地の有効利用に関する話し合いを行うとともに、農地中間管理機構の活用を呼びかけている。補助金交付は、寒河江市において制度はあるものの実績はない。



▶大井沢地内の耕作放棄地

山菜王国

町は山菜王国を標榜しているが、どの山菜に力を入れていくのか。また、わらび栽培を奨励してきたが、今年

は総合開発(株)で購入を中止した。生産支援の方向に逆行しているのでは。

林道・作業道

維持のための草刈り作業は高齢化の著しい地域では負担が

基幹林道を町道に格上げしてはどうか

町道認定要綱により、町道の基準を「主要集落又は集落と

等々の生産拡大に取り組んできたが、生産者の高齢化や担い手不足により、数年後には極端な生産の落ち込みが想定され、大きな課題となっている。そのため、本年度から3ヶ年間、「町ぐるみ山菜きのこ産業振興プロジェクト事業」を実施している。総合開発(株)でわらびの集荷を中止したのは、それまで提携していた大手の山菜加工業者の倒産が大きく影響している。直売所での販売をがんばっていただきたい。

林道維持管理は、町としても各地区の高齢化に伴い、非常に厳しい状況と認識している。除草剤散布は既に実施している地区もあり、一定の成果を確認している。なお、環境問題にならないよう対応いただいている。緑環境税の活用については、現在のところ林道等の維持管理にかかる交付基準がない。

木質バイオマス

6次総では「水沢温泉に導入する」とあるが、未だに導入しない理由を明確に。

検討した際、木材チップの推定必要量が年間約498トンなのに対し、その時点で町内製材所等から生産される量が年間約211トンであり、十分な燃料が確保されない状況だった。今後、必要量確保のため、ボイラーの耐用年数、メンテナンスコスト等も勘案しながら、検討したい。

幹線道路を連絡する道路等や主要公益的施設、主要生産施設及び主要観光地及び隣接市町村に通じる主要道路と定めている。一方、林道は森林の適切な整備及び保全を図るためのものであり、町道と林道の設置目的に違いがある。



飯野 咲子 議員

一般質問

里山社会・文化研究所

研究所の人的配置、機能の見直しを

町長 見直しを行い、対応する。

里山社会・文化研究所は、充分な話し合いもないまま平成28年度に設立されて3年目になるが、進め方や内容に疑問を感じ、次の質問をする。

これまでの実績

事業の具現化と本格的稼働の達成はどうか考えているか。

里山社会・文化研究所は、充分な話し合いもないまま平成28年度に設立されて3年目になるが、進め方や内容に疑問を感じ、次の質問をする。

町民への還元

町民の事業はすべて町民に還元されるべきであるが、どう評価しているか。

町民への還元



経済動向調査の中間発表表会

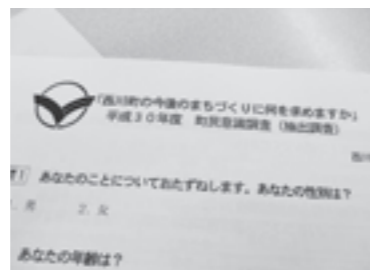
町民意識調査の結果はどうか。7月に行なった町民意識調査の結果はどうか。

町民意識調査

7月に行なった町民意識調査の結果はどうか。町民意識調査は、これまで総合計画の策定を行う際の町民の方々の意識の傾向を反映するための重要な資料として、10年ごとに実施している。今回は、現在の総合計画の後期基本計画の見直しなどのために、1年前倒して実施したものだ。

人的配置の見直し。当初から人的配置に疑義を持ち、意見を述べてきたが見直しの考えはどうか。

人的配置の見直し



町民意識調査

町民意識調査の結果はどうか。町民意識調査は、これまで総合計画の策定を行う際の町民の方々の意識の傾向を反映するための重要な資料として、10年ごとに実施している。今回は、現在の総合計画の後期基本計画の見直しなどのために、1年前倒して実施したものだ。

今後の取組み。町長の今後の取組の意気込みを伺う。

今後の取組み

町長の今後の取組の意気込みを伺う。町民の今後の取組の意気込みを伺う。



大泉 奈美 議員

一般質問

第3セクター

西川町総合開発株式会社の役割を問う

町長 地域経済全体の振興に寄与したい。

町が出資する西川町総合開発株式会社については、産業振興や雇用の確保、地域活性化の面で町民のみならずが大変期待し、注視している。そのことをふまえ、筆頭株主である町に質問する。

会社設立から今まで

資本金1億円で設立した当初の目的と方針は。

設立当初は黒字経営を見込んでいたが、その後の経済状況の変遷や観光客の激減などが影響し、赤字経営が続いている。資本金も減っているが、町が進める総合産業化は会社の目的と合致しており、今後も、黒字経営になるようにしていくのが、町としての支援策と考えている。

今後はどうするか。全国に先駆けて販売した月山自然水の今後は。

今後はどうするか

低コスト、人件費削減による黒字決算だが、今後の営業努力は。引き続き、設立当初の目的と方針をふまえながら、本町の重要な観光資源の核となる施設管理運営を推進するとともに、地元農業者や商業者、各種団体等との連携を図りながら地域経済の発展に寄与したい。



月山自然水

町としての必要性は認識している。必要とする方々が主体となる。女性による町づくりの活動を引き出す施策について次の質問をする。

町民の主体的活動を支援したい。Loveらぼが活発に活動するためサポート役として地域おこし協力隊を募集できないか。

最終的に町民の方々が主体的な運営を行うための手段として、地域おこし協力隊の導入検討も必要かと考えている。

みなさんの声をお聞きしました!

第8回 町民と議会の対話の集い【3地区編】

今年度の町民と議会の対話の集いは、2班編成の下、岩根沢、小山、志津の3地区と、西川町公民館連絡協議会、西川小学校PTA役員、女性によるまちづくり会議「Loveらぼ」の3団体を対象に行い、様々なご意見をいただきました。その一部を紹介いたします。

3地区で出された主な意見

3地区との対話の集いについては、参加者の皆さんから出された意見などを項目ごとに分けて集約した内容を、抜粋して紹介します。

議会活性化なり手確保

報酬のあり方

★議員報酬が低くて若い人が議員になろうとしない。市議会議員並みの報酬が必要だ。今のままでは子どもを大学まで入れられない。
★議会では報酬のあり方として生活給をどのくらいに見ているのか。年間収入380万円くらいが基準だと捉えている。パートなどの場合はもっと安い。

やる気の問題

★やる気があるのかどうかの問題で、年配でもやる気がある方からやってもらいたい。若手だけでなく60歳以上でも良いのではないか。

★議会がこんな深刻なことになっているのは初めて知った。
★議員のなり手は、現職議員が見本となり後継者を育てないとダメだと思う。

制度の問題

★議員定数を減らしたのも原因なのではないか。
★アメリカの地方議員は無報酬のところもあり、会議は夜などに行われる。将来的にそういう方向を目指せば若い人もでてくるのではないか。
★議員定数が少ないから議員になりたい人が出てこない。定数を増やせば必ず解決する。過去の議員は最高で26人の定数だった。

現状のままで良いのでは

★議員は名誉職的なところもあるのでは、若手はなりたがらない。若い議員だけではだめなので、現在の状況でがんばってもらいたい。女性議員も増えたので当面良いのではないか。

政策提言のその後

★議会で政策提言をしていると聞いたが、町の実施状況はどうか。

地域を維持

★小山は16世帯の集落になった。地域を守るための管理作業ができなくなっている。地域おこし協力隊を活かすことなどはできないか。

農林業の課題

★昨年からイノシシが芋畑を食い荒らす被害が多く発生している。トウモロコシはタヌキやハクビシンの被害があり、誰も作らなくなった。有害鳥獣の被害防止対策を講じてほしい。
★なぜイノシシが出るようになったのか町全体で調査し、対策を講じるべきだ。
★杉は伐期を迎えている。責任をもって林業振興を進め、杉の値段も上げてほしい。
★林道や町道の拡幅をして杉の出荷に備えていくべきだ。
★役割として、山に生きるものは山で生活できる条件を作るべきだし、林道整備などは議員が解決策を作るべきだ。

積極的な町のPRを

★町では外国と友好都市の提携をしているのか。外国でなくても関東方面との交流や災害協定などもある。米のPRや販売、姉妹都市へのPRが必要だ。
★26年に三山神社の太々神楽が地域文化遺産に認定されたので、多くの方々が目に来てくれた。そういう方々に神社や米、特産物をPRしたい。

観光産業の行く先

★町の産業を見た場合に、観光を無視したままです。展望は開けないはず。どういう方向に持っていくのかということを経営や役場、観光協会、地元がそれぞれしっかりした考えをもって話し合い、前に向かっていく必要がある。これは町の存続に関わるようなものだ。
★今回の月山ペアリフト施設破損は、天災でなく人災だ。観光に携わる人たちの態度も人ごとのように見えない。観光協会の理事会でその感じ、がっかりした。

★時代が変わっても、月山の方が発展しないと里の方の発展もしない。共存共栄だ。月山を人が呼べるような観光地に、ちゃんと儲かるシステムをみんなで考えていかないと、人口減少の波は止まらない。議会でも考えてほしい。
★志津もそうだが、大井沢も岩根沢もちょっと行っただけの所がない。各地区均衡のある開発はできないのか。
★姥沢からペアリフトまで歩かなければならない。それが大変で、一度来たならもう来なくなる。団塊の人たちだけのスキー場になっている。施設の老朽化と同時に、将来、スキー場全体をどういう形にするか検討してほしい。
★リフト乗り場まで国立公園の保護区になっているが、今の道路を改修してシャトルバスを走らせるとか、高齢者や子どもなどがリフト乗り場まで行きやすい方法を考えなければならぬ。
★今これだけ緊急の議題が現れるために、関係者で

2学期制は問題がある

★小中学校に2学期制が導入されているが、最近では他で2学期制を導入するところもなく、検証すべし。終業式も始業式もないとメリハリがつかずダラダラしてしまうのではないか。



▲太々神楽「宇賀舞」



▶岩根沢地区での対話の集い



◀小山地区での対話の集い



◀志津地区での対話の集い

3つの団体との対話の集いについては、団体ごとにとまとめて紹介します。

みなさんの声をお聞きました！ 町民と議会の対話の集い【3団体編】

西川町公民館連絡協議会のみなさん

西川町公民館連絡協議会、各地区公民館長さんたちにより組織された団体で、公民館相互の情報共有と連絡調整を行うため、定期的な会議や研修等を行なっています。

7月31日に開催した対話の集いでは、主に「議員のなり手確保対策」に関する質問や意見をいただきました。

夜間議会の検討必要

★議員の活動日数は約130日だが、自営業の場合、とても回り切れない。これは「議員専業」でないといけない。

問 働いていると議員として活動する時間が思うように取れない。誰にでも議員として活動できるように夜間議会を開催してはどうか。

答 庄内町で夜間議会の開催を検討したが、町幹

部職員の超過勤務など経費もかかるために実施できなかった。他にも傍聴者を増やすために夜間議会を実施している例はあるが、常時開催は難しいのではないかと

地区役員もなり手不足

★公民館活動は地域のための取組みだが、それぞれ人口などその規模も違う。最も小さい小山地区は役職のダブリが多くなっている現状である。

各地区の役員などでもなり手不足が問題になっており、議会で本気になって対応を協議すべきだ。

活躍する姿を前面に出して

★先頭に立ってバリバリやる方が共感をよんでいる。議員なり手確保対策として目立つように派手なことをやってもいい。

議員報酬は少ない

★以前、ある方に出馬要請

したら、「今もらっているくらいの給与をもらえるなら考える」と言って断られた事例がある。



▲公民館連絡協議会との対話の集い

議会だよりについて

※それぞれの質問に対する答は当日述べられたものでなく、今回の掲載に合わせてあらためて作成したものです。

問 議会だよりは町民に周知するためのものなので町広報紙と一本化できないか。

答 議会の持つ行政監視機能という役割を考慮すると、行政の立場として作られる広報紙と議会だよりを一本化することには違和感

問 議会だよりモニター制の中身がわからない。改善したところが見えない。モニター設置の考え方を聞きたい。

答 議会だより読者モニターは、一人でも多くの方から議会だよりを読んでいただき、その感想をうかがいたいという趣旨で、毎年10人の方々にお願いしています。
ご意見の内容は、今号からコーナーを立ち上げて（23ページ参照）紹介させていただきます。

女性によるまちづくり会議 「Loveらぼ」のみなさん

平成29年1月から活動されている女性だけの団体です。「この町でやりたいことは何か」、「この町をどうななふうにしていきたいか」などをテーマに活動されています。

8月7日に開催した対話の集いでは、議員からメンバーのみなさんに様々なことをお聞きしました。

対話の集いについて

★（冒頭の議会からの説明に対し）いつも説明はこんなに長いのか。まず議員のみなさんの本音が聞きたい。説明で難しい言葉を並び立てても気持ちが悪わってこない。気軽に話のできる場が議会にも必要なのではないか。

議員からみなさんに質問

問 Loveらぼに参加した理由は？



▲Loveらぼとの対話の集い

問 今後の活動で課題と捉えていることは？

答 ①時間を気にせず集まれる場所がほしい。

答 ①楽しみながらこの町に住んでいきたい。

②活躍できる場所づくりがしたい。

③楽しく生きて行くために町内の人たちと一緒に活動したい。

④年代を越えて交流できる友だちをつくりたい。

西川小学校PTA役員のみなさん

8月17日に開催した対話の集いには、PTA会長以下役員のみなさんからご出席いただきました。

意見を生かすには

問 保護者の意見を校長や教頭などに要望しても、どれくらい反映されるのかわからない。

答 予算要求に合わせてPTAと教育委員会の正式な協議の場を持つべきだ。来年度の予算編成に反映されるよう11月頃に開催すればよいのではないかと。

★PTA役員として次の4点を要望したい。
①小中学校にクーラー（エアコン）を設置すること。
②除雪対策として登下校時とも歩道を確保すること。

②団体内の事務仕事を自分たちでしなければならぬと思っているが、仕事もあるのでなかなかできない。

③防犯対策としてLEDの外灯を増設すること（特に小中学校周辺や自転車道路）。

④町はスポーツに対しては一生懸命だが、音楽などを通じた情操教育が少し足りないと思う。

子育て環境について

★町外から見た場合、おむつ支給や予防接種、保育所の待機児童がないことなど、子育ての面で魅力はあるが、そのPRが下手だ。
★子育て支援として近隣では高校生まで医療費が無料になったところもある。

★高校生の通学（帰りも含む）に必要なバスの便数が少ない。高齢者の「福祉タクシー」のように「子どもタクシー」を考えられないか？



▲西川小PTA役員との対話の集い

★学童保育もあり、二世帯三世帯同居でも保育園に入るのでありがたい。

議会のなり手対策

★議員報酬23万5000円で少なくないか。町三役の報酬額と比較して安いので、若者のなり手は出ない。ということは若い人の声が出ない。

★議員は10人しかいないので、待遇をもっと手厚くすれば、40代の議員が2人くらい出るのではないかと。

7月から8月にかけての各常任委員会では所管事務調査や現地調査を行いました。その内容を紹介します。

こんな調査をしています

介護施設の運営状況は？

総務厚生常任委員会の年間における所管事務事業の調査事項として、
 ①子育て支援対策
 ②人口減少対策
 ③保健医療福祉対策
 の3項目を取り上げています。このうち③に関して、7月24日に「ケアセンターとこしえ西川（小規模多機能型居宅介護事業所）」と「ゲストハウスとこしえ西川（サービス付き高齢者住宅）」及び「ケアハイツ西川」の施設と運営状況を調査しました。

課題は介護職員確保
ケアセンターとこしえ西川
 宿泊・通い、訪問サービスを一体的に受けられる介護事業所で、川西町の介護事業者「株式会社テイクオフ」が運営しています。調査当日は、社長自ら説明してくださいました。施設の登録定員は29人で、



▶とこしえ西川

7月現在、登録利用者は27人になっていきます。昨年視察した時には、損益分岐点に達していないという説明を受けましたが、要介護者の利用が増加し、未だ赤字ではあるものの、経営状況が軌道に乗りつつあるようです。介護業務は、アルバイトやパート職員の協力のもとに運営しており、介護職員の確保が課題になってい

より充実したサービスを

ゲストハウスとこしえ西川
 サービス付き高齢者住宅で、ケアセンターとこしえ西川と同じく株式会社テイクオフによる運営です。7月現在、定員11人に対し市内の11人の方々が入居しており、100パーセントの稼働状況です。和やかな雰囲気を利用者から大変喜ばれており、なお一層充実したサービスが望まれます。



◀ケアハイツ西川の厨房を確認

大規模修繕が必要

ケアハイツ西川
 平成29年度のケアハイツ西川の経営は、介護報酬の全事業合計額で安定した収益となりました。事業活動資金収支差額（事業収入から事業支出を差し引いた額）においても特別養護老人ホーム及び短期入所、デイサービス、居宅支援事業所事業などの高い利用率を確保し、安定した収益となりました。最終

的な当期活動収支差引額は1100万円の黒字決算となっております。ただし、施設開所から27年が経過し、特に厨房は、手狭になっていくことと給排水設備の老朽化が課題となっております。このため、今後は大規模な厨房修繕工事（8000〜9000万円）や、その他の各種工事を予定しています。今年度からの5年間で1億6535万円という多額の設備投資を要するため、その財源確保が大きな課題になっていきます。

様々な課題を認識

産業建設常任委員会の年間における所管事務事業の調査事項として、
 ①農業の通年経営
 ②畜産振興の方向性
 ③クアの道
 の3項目を取り上げています。このうち①と②に関して、7月17日に「仁田山放牧場」と小山地区の「たけのこオーナー制度」の現地調査を行いました。また、「町内における事業所等の状況と今後の見通し」として、9月6日に西川町商工会を対象とした事務調査を行いました。

牛の肥育にあたっては、当然のことながら疾病予防のための事前検査や予防接種等を実施しています。放牧している40頭のうち西村山地区では朝日町から25頭、寒河江市から7頭を受け入れ、西川町の牛は2頭しかいません。西川牛のブランド存続という点で大きな課題と言えます。

今後の進展を見守る

たけのこオーナー制度
 所有者の高齢化などにより維持するのが難しくなっているネマガリタケの園地を、希望する方に貸し出すオーナー制度です。1区画を年50000円で3年間借りることができ、小山地区（小山地区）が事業の実施主体となり、運営費として年20000円を徴収します。現在、4区画すべて貸し出されていますが、その規模が小さく、今後の事業展開や制度そのものの進展を見守る必要があります。



◀オーナー制度の園地

西川牛の厳しい現状

仁田山放牧場
 5月31日から10月23日までの146日間、40頭の牛を放牧しています。放牧場の総面積は77・9ヘクタールで、臨時職員2名で管理しています。



▶仁田山放牧場で説明を聞く

町外に生産拠点集約

株式会社小堀製作所
 海味の西川工場は来年5月まで生産を継続し、その後、大江工場に順次移転する予定となっています。現在の西川工場の従業員数は約60人で、大江工場は210から220人ほどになる見込みです。

また、移転後の西川工場の土地や建物の取扱いに関しては未定となっています。昭和40年代半ばから50年代半ばにかけて町内へ誘致した企業や事業所等が次々に姿を消し、また一つ町内の働き口が消えることになっています。残される建物等の今後にも気になります。

知りたい!聞きたい!

～議会だより105号のアンケートより～ 読者モニターの広場

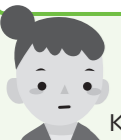
西川町議会だより読者モニターの皆さまからたくさんのご意見などが寄せられました。その中のいくつかを広報公聴常任委員からの回答とともに紹介します。



「提出議案及び審議結果」を一覧にすることでわかりやすくなりました。

T.Tさん

他町村議会広報でも取り入れられている掲載方法です。西川町議会だよりでも必要に応じて活用していきたいと考えています。106号にもありますよ。(^^) /



広報公聴常任委員会での研修会で受けた指摘の内容と改善した所を示してもらおうと、変化の様子が分かりやすいかと…

K.Yさん

105号の編集にあたって特に改善したのは「レイアウトの工夫」や「見出しの活用」などです。例えばページを開いて見出しを参考に興味のある内容から読み始めることもできるように配慮しています。(^^)



第2回臨時会報告の中で、介護職員採用関係の条例の内容が分かりません。

F.Sさん

この条例は要介護や要支援の認定を受けた方を対象とするサービスの基準等を改正するものですが、これによって、介護職員採用にあたっての基準を厳しくするものではないという意味での小見出し「介護職員採用に影響なし」でした。わかりやすくしようと思った小見出しが、かえってわかりにくいイメージを出してしまったようです。今後は気をつけたいと思います。(…)



常任委員会報告の「みんなで考えてみよう」はわかりやすく大変良いと思いました。

M.Fさん

種子法廃止に関する話題は大変重要な内容でしたので、皆さまにきちんとお伝えしなければならぬと考え、一つのコーナーとして記事を設けたものです。(^^)



注目事業「生まれかわる旧川土居小」の中で、学校といえば「桜」ですが、伐採した意図は？老木、それとも何かあるのですか？

J.Iさん

老木で道路に倒れる危険性があり、今後、地元での管理も困難になると想定されることから、地区のみなさんに相談の上で伐採したという説明がありました。



ご感想をお寄せください

西川町議会では10名の町民の皆さまに議会だよりの読者モニターをお願いしています。アンケートにより寄せられたご質問やご意見には、きちんとお答えするよう心がけています。読者モニター以外の方でも、議会や議会だよりについて「知りたい!聞きたい!」という場合は、お気軽にお問い合わせください。

ファクシミリ 74-2601
メール giji@town.nishikawa.yamagata.jp

項目	古殿町	天栄村	西川町
人口・世帯数	4,963人/1761世帯	5,348人/1,659世帯	5,480人/1,863世帯
面積	163.47km ²	225.52km ²	393.2km ²
議員定数	12人(65.4歳)	10人(65.1歳)	10人(68.9歳)

※議員定数の欄の()は議員の平均年齢



▲古殿町議会議場にて

去る6月21日から22日にかけて、議会運営委員会の行政視察研修を行いました。今回は、同じ東北である福島県内において、人口規模や議会の構成などが類似している古殿町と天栄村の議会運営や議会活性化等の取り組みを視察し、西川町議会が取り組んでいる議会活性化に活かすという目的で実施しました。

活かそう我が町に 行政視察報告

中学生が町活性化を提案 古殿町議会

社会科授業の一環として平成27年度から「中学生議会」が毎年開催されています。議会では代表の生徒10人が質問者となり、グループで考えた、自由な発想のアイデアを町長に提案するそうです。

西川町議会では

中学生議会を、同じく社会科授業の一環として実施できないか、議会活性化議員懇談会で検討しています。

優良町村議会表彰を受賞 天栄村議会

「政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会」、「住民に開かれた議会」、「地域振興のために特別な取り組みをした議会」として評価され、今年2月に全国町村議長会から表彰を受けました。

西川町議会では

まずは町民の方から議会に関心を持っていただくにはどうすればよいか、議会活性化議員懇談会で検討しています。

議会の動き

- 議会全員協議会 9月5日 健全化判断比率及び資金不足比率報告ほか
- 議会運営委員会 8月20日 第3回定例会の運営
- 総務厚生常任委員会 7月24日 事務調査「ケアセンターとこしえ西川」、「ケアハウス西川」運営状況
- 9月6日 請願審査、事務事業評価シート確認
- 10月3日 事務事業評価(聴き取り調査)
- 産業建設常任委員会 7月17日 事務調査「仁田山放牧場ほか」
- 8月20日 請願審査、評価対象事業の選定
- 9月6日 事務調査「町内事業所の現況」
- 10月3日 事務事業評価(聴き取り調査)
- 広報公聴常任委員会 9月6日 編集会議
- 9月18日 入稿前編集会議
- 9月25日 第1回校正
- 10月1日 第2回校正 文書アドバイザー指導
- 10月4日 第3回校正
- 10月9日 第4回校正、校了
- 議会活性化議員懇談会 8月9日 議員のなり手確保対策検討
- 9月13日 議員のなり手確保対策検討
- 9月26日 議員のなり手確保対策検討

経験が子どもたちを強くする

こんな活動をしています

西川卓球スポーツ少年団は、毎週火曜日と木曜日の午後7時から9時までと、日曜日の午前9時から正午



佐藤 美代子さん (間沢)

「元気な子どもたち」シリーズ 6

西川町卓球スポーツ少年団

までの週3回、西川中学校の体育館で練習をしています。現在は、小学生8人と中学生12人で練習に励んでいます。

日々の練習では、経験豊富なコーチの皆さんが丁寧に指導してくれます。先輩方も、後輩の指導に、練習相手にと足を運んでくれます。練習への保護者のサポートもあり、素晴らしい練習環境をありがたく思っています。

勝っても負けても強くなる

先月から、山形県選抜卓球リーグ戦大会が始まりました。9月から翌年の4月まで、月1回試合に参加します。300人以上の登録選手たちが集まり、小学生から大人までレベルごとに戦い、勝てばランキングが上がり、負ければ下がります。ここでは先輩も後輩も男子も女子も関係ありません。年間で6〜7回の試合



▲ 熱のこもった練習

に参加して、日々の練習の成果を試し、自分の実力を知り、いろいろな選手とたくさん試合経験を積むことができる、とても素晴らしい大会です。

一生懸命戦っても、最初から勝ってランキングを上げていくことは、なかなか難しいようです。でも、試合をするたびに「次は勝ちたい」という強い気持ちを持つようになり、負けにくくやささと勝つ喜びとともに味わうようになります。勝っても負けても、その経験が子どもたちを強くしてくれます。

シーズンが終わるころには、どの子どもも精神面と

技術面ともに確実に成長しています。

この他にも、大会や練習会への参加も増えてきており、活躍の場もどんどん広がってきています。

練習だけでなく、大きな声でのあいさつや、道具を大切にしている準備や片付けからも、日々いろいろなことを吸収し、学んでいます。

今後は、学年や立場を越えて一緒に卓球をする仲間を思いやり、励まし合い、助け合い、さらなる活躍をしてくれると思います。

編集後記

今年の夏は猛暑日が連日続いたかと思うと台風が次々と上陸し、各地で豪雨による災害が多発しました。

また北海道では大地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々やそのご遺族、また被災された方々に対し、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

我が町も例外ではなく暑い日が続き、豪雨もありました。土砂災害なども発生しましたが、人的被害はありませんでした。とはいえ、このまま災害を他人事と思わず心の準備をしておくことが大事だろうと思います。

(大江広康)

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

パソコンのインターネットでもご覧いただけます

次回定例会は
12月です
(12月3日～7日の予定)



※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

《発行・編集責任者》

議長	伊藤 哲治
編集委員	
委員長	大江 広康
副委員長	飯野 咲子
委員	宮林 昌弘
委員	佐藤 幸吉
委員	大泉 奈美